

## 企業調査レポート

安藤証券株式会社  
調査部：土田 陽一  
平成 24 年 2 月 2 日

### オーエスジー（6136）

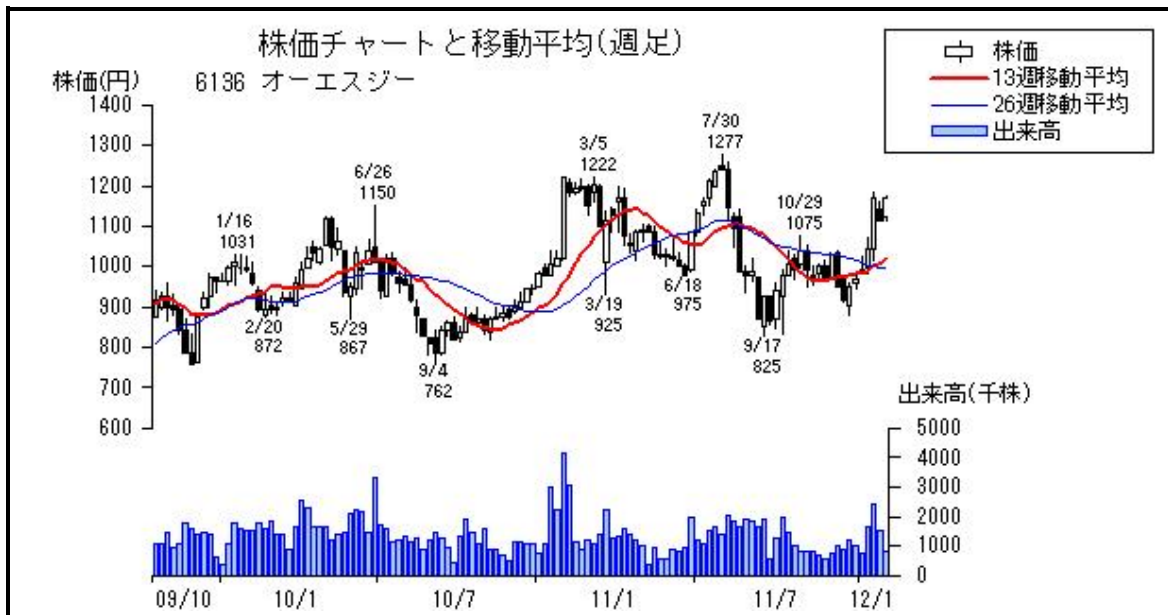
業績推移（連結ベース、単位はE P S、配当が円、他は百万円、予は会社側予想）

決算期	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	E P S	配当
10/11	69,513 +30.4%	7,524 -	6,699 -	3,772 -	39.34	12.00
11/11	80,959 +16.5%	12,305 +63.5%	11,374 +69.8%	5,904 +56.5%	62.18	18.00
12/11 予	84,000 +3.8%	14,000 +13.8%	13,300 +16.9%	7,400 +25.3%	77.92	23.00

各種指標（株価、配当利回りのカッコ内は日付）

株 価	1,169 円(2/ 1)	発行済株式数	98,955 千株(11/11 期)
連結 P E R	15.0 倍(12/11 期予)	連結 B P S	625.14 円(11/11 期)
連結 P B R	1.9 倍(11/11 期)	連結 R O E	10.1%(11/11 期)
配当利回り	2.0%(2/ 1)	上場市場	東証・名証一部

株価チャート（週足）



本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、銘柄の選定、投資判断の最終決定は、お客様御自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料は、信頼出来ると考えられる情報に基づいて作成されていますが、安藤証券は、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、今後、予告なく変更される事があります。事前の了承なく複製または転送等行わないようお願いします。

## 会社概要

精密切削工具の大手で、主力製品はタップ（ねじを切る工具）、エンドミル（形を削り出す工具）、ドリル（穴をあける工具）、転造ダイス（ねじを加工する工具）などである。創業製品であるタップで世界シェア約30%を有するなど各製品で高シェアを持ち、高付加価値製品を生み出す技術力を強みとする。

## 地域別、製品別売上構成比（会社資料より作成）

地域別	2010/11期	2011/11期
日本	51.4%	50.3%
米州	16.1%	15.6%
欧州	8.1%	8.2%
アジア	24.4%	26.0%

製品別	2010/11期	2011/11期
タップ	33.3%	35.7%
エンドミル	23.3%	22.0%
ドリル他	23.4%	22.6%
転造工具	9.6%	8.7%
測定工具	1.6%	1.4%
その他	8.8%	9.5%

## 業績動向

2011年11月期の連結業績は、期末にかけてアジアのEMS（スマートフォンなどの受託生産事業者）向けで減速傾向が見られたものの、製品別では主力のタップ、地域別ではアジアを中心にほぼ全製品、全地域で需要が順調に拡大、海外売上高で円高の影響があったものの、増収効果など吸収、売上高、営業利益、経常利益、当期利益とも当初の会社側予想を上回り、2ケタ増収増益を達成した。

2012年11月期は、主力のタップのほか、超硬ドリルなどでも生産能力の増強を進めて需要増に対応する方針を打ち出しており、円高の影響が見込まれるものの、増収2ケタ増益となる見通しである。なお、前提となる為替レートは1ドル=77円、1ユーロ=101円で、連結配当性向30%以上を目標としている株主還元方針から年間配当を前年同期比5円増の23円（中間配当が同4円増の10円、期末配当が同1円増の13円）とする方針である。前述のように足元でアジアのEMS向けが減速傾向となっている以外は需要が順調に拡大している模様で、為替相場が会社前提より大幅な円高方向に振れない限り、今期業績は会社側予想水準を確保する可能性が高いものと思われる。

同社は2013年11月期に連結売上高900億円、連結営業利益150億円を目標とする中期経営計画を推進している。主力のタップに加え、重点製品と位置付けている超硬ドリルの需要が順調に拡大、ほぼ達成が視野に入っている模様で、円高などのリスク要因があるものの、リーマン・ショックを受けて落ち込んだ業績や財務体質は順調に回復しており、今後の動向が注目されるものと思われる。

本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、銘柄の選定、投資判断の最終決定は、お客様御自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料は、信頼出来ると考えられる情報に基づいて作成されていますが、安藤証券は、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、今後、予告なく変更される事があります。事前の了承なく複製または転送等行わないようお願いいたします。